平成25年7月

美里町教育委員会定例会会議録

平成25年7月教育委員会定例会議

日 時 平成25年7月31日（木曜日）

午後1時30分 開議

場 所 美里町役場南郷庁舎 201会議室

出席委員（5名）

1番	委員	長	佐々木	勝男	君
2番	委員		成澤	明子	君
3番	委員長職務代行		三浦	昌明	君
4番	委員		佐藤	三昭	君
5番	教育長		佐々木	賢治	君

欠席委員（名）

なし

教育委員会事務局出席者

次長兼教育総務課長	大友	義孝	君
教育総務課学校教育専門指導員	三浦	満	君
教育総務課課長補佐	寒河江	克哉	君

議事日程

第1 会議録署名議員の指名

第2 前回の会議録の承認

第3 報告事項

1 行事予定等の報告

2 教育長の報告

3 報告第30号 平成25年度生徒指導に関する報告（6月分）

4 報告第31号 平成25年度学校教育力アップに関する報告（6月分）

- 5 報告第32号 平成25年度学習の定着状況に関する報告
 - 6 報告第33号 区域外就学について
 - 第4 審議事項
 - 1 議案第18号 美里町教育委員会評価委員会委員の選任について
 - 第5 協議事項
 - 1 美里町教育委員会の点検及び評価について
 - 第6 その他
 - 1 教育振興基本計画について
 - 2 いじめ防止対策推進法について
 - 3 小学校・中学校における租税教育の推進について
 - 4 中学校運動会の出席者調整について
 - 5 住民懇談会（意見交換会）について
-

本日の会議に付した事件

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 前回の会議録の承認
- 第3 報告事項
 - 1 行事予定等の報告
 - 2 教育長の報告
 - 3 報告第30号 平成25年度生徒指導に関する報告（6月分）【秘密会】
 - 4 報告第31号 平成25年度学校教育力アップに関する報告（6月分）【秘密会】
 - 5 報告第32号 平成25年度学習の定着状況に関する報告【秘密会】
 - 6 報告第33号 区域外就学について【秘密会】
- 第4 審議事項
 - 1 議案第18号 美里町教育委員会評価委員会委員の選任について
- 第5 協議事項
 - 1 美里町教育委員会の点検及び評価について
- 第6 その他

- 1 教育振興基本計画について
 - 2 いじめ防止対策推進法について
 - 3 小学校・中学校における租税教育の推進について
 - 4 中学校運動会の出席者調整について
 - 5 住民懇談会（意見交換会）について
-

午後1時30分 開会

○委員長（佐々木勝男君） 皆さん、こんにちは。只今より、平成25年7月教育委員会定例会を始めることにいたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

○委員長（佐々木勝男君） 議事日程の第1、会議録署名委員の指名ということで、2番委員成澤委員、4番委員佐藤委員にお願いしたいと思います。

日程第2 前回の会議録の承認

○委員長（佐々木勝男君） 議事日程の第2、前回の会議録の承認ということで、事前に各委員の皆さんには会議録が配付されて、目を通されておったと思いますが、事務局のほうには特に変更、修正箇所の連絡はございましたか。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） ございませんでした。

○委員長（佐々木勝男君） 各委員からの修正箇所はないということでございますので、承認ということにしたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

日程第3 報告事項

○委員長（佐々木勝男君） 議事日程第3 報告事項

報告事項の中で3番から6番までは、非公開事項を含む報告ですので秘密会扱いということになります。その流れに従いまして、傍聴の方がおいでになったときにその時点でまたお話し申し上げたいと思います。

では、1番の行事予定等の報告につきまして、よろしくお願ひします。

日程第3 報告事項1 行事予定等の報告

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、本日お上げしました資料の議事日程の次のページでございます、美里町教育委員会行事予定表を見ていただきたいと思います。

8月は行事予定が割合多いものでございますので、教育委員会に関係する分を要約して説明させていただきますので、御了解いただきたいと思います。

〔以下、資料により説明に付き詳細省略〕

・8月2日 〔予定〕第1回教育委員会評価委員会

- ・ 8月6日 学力向上教職員研修会

※本年度教育委員会の重点目標、重点施策である学力向上事業にかかわる教職員研修会。

南郷庁舎において、秋田県教育委員会職員を講師として招き、美里町内全教職員の研修とする。夕方、講師先生を交えて教育懇談会を予定している。

- ・ 8月8日 福島県会津美里町教育委員会視察研修〔近代文学館、文化会館〕
第8回学校教育環境審議会〔学校視察（小牛田中・不動堂小・不動堂中）〕
- ・ 8月22日 〔予定〕8月教育委員会定例会
- ・ 8月26日 小中学校・幼稚園第2学期始業式
9月定例議会招集告示、一般質問受付締切り〔8月28日〕
- ・ 8月31日 中学校運動会
〔近代文学館、図書館関係事業〕
- ・ 8月8日 夏休み特別お話し会
- ・ 8月20日 お膝に抱っこスペシャルお話し会、工作教室
- ・ 8月23日 絵本学習会（年8回開催）
〔文化財事業〕
- ・ 8月24日 文化財講座『小牛田駅の歴史』（年5回開催）

○委員長（佐々木勝男君） ただいま行事予定について御説明をいただきました。何かお伺いしたいことございましたら、お願いします。

○3番委員（三浦昌明君） よろしいですか。8日の会津美里町の教育委員会視察研修とありますが、我々は参加しないのでいいのでしょうか。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） よろしいです。教育長に対応していただきたいと思っています。

○委員長（佐々木勝男君） ほかにございましたら。追加等があれば、どうぞ。

○4番委員（佐藤三昭君） 評価委員会が第1回、2回と行われて、教育委員会定例会とありますが、不勉強でわからないのですけれども、評価委員会そのものは教育委員の出席は必要ですか。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 出席は必要ございません。

本日、審議事項におきまして、評価委員の選任がございしますが、あくまでも第1回、2回目と予定とさせていただいておりましたので、御承知おきいただきたいと思います。

○4番委員（佐藤三昭君） わかりました。ありがとうございます。

- 委員長（佐々木勝男君） 8月8日の環境審議会については、中央コミュニティ集合ですね。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 中央コミュニティセンターに午後1時に集まっていたまきまして、マイクロバスにて先ほど言いました三つの学校を視察させていただき予定でございます。
- 委員長（佐々木勝男君） 乗せてもらえれば、一緒に視察させていただきたい。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） よろしくお願ひします。
- 委員長（佐々木勝男君） 御希望があれば現地視察ということになりますので、もし御都合つかれる委員の皆様方、8日中央コミュニティセンターから、何カ所か校舎を見るということになりますので、御協力いただける方、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。
- あと、なければ次のところに入らせていただきます。
- 報告事項2、教育長の報告、教育長よろしくお願ひします。

日程第3 報告事項2 教育長の報告

- 教育長（佐々木賢治君） それでは、プリントに沿って御報告させていただきます。
- 主な行事、会議等ではありますが、前回定例会が6月26日実施されております。それ以降についてそこに羅列させていただきました。主なものを内容等の説明をしながら、御報告したいと思ひます。〔以下、資料により説明に付き詳細省略〕
- ・6月28日 宮城大学との協定調印式
 - ※町の政策的、総合的な課題を情報共有し、町の政策を推進していく。
 - 特段、教育部門についての協定項目はない。
 - ・6月29日 スポーツ少年団入団式（21団体、今年度308名の団員）
 - ・6月30日 美里町PTA連合会親睦バレーボール大会（南郷体育館）
 - ・7月5日 町内教頭会、大崎地区教育長連絡会
 - ・7月11日 町内小中学校芸術鑑賞教室〔雅楽〕
 - ※午前 小学校4年、5年、6年生を対象、午後 中学校全生徒を対象
 - ※昨年は歌舞伎を鑑賞、古典芸能シリーズで2年目
 - ・7月11日午後 第7回学校教育環境審議会
 - ・7月18日 給食センター構想に係る住民懇談会意見交換会（近代文学館）
 - ※全教育委員に出席していただいた。
 - ※意見交換内容の検討は、後ほど議事日程のその他で話し合う予定。

- ・ 7月18日午後 町内小中学校防災教育担当者会議（小牛田中学校）

※今年度、主幹防災主任を不動堂小学校に1名加配した。昨年度は、小牛田中学校に1名配置。国、県挙げて防災教育にきめ細かな配慮による配置。小中学校の体育館等が避難所に指定されているので、学校の地域、自治組織との関連性などを本年度中にまとめる予定。町担当課である防災管財課とのかかわりがある。小学校ごとに保護者への引き渡し訓練は実施済みであるが、その後地域に帰ってからの活動や協力体制等をまとめている。

- ・ 7月19日 小中学校・幼稚園第1学期終業式

教員補助員、業務員等一斉研修会（学習障害等の講演会）

※学び支援コーディネータ事業を夏休み中に実施

- ・ 7月22日 県教委主催県北圏域教育懇話会（登米市；委員長、教育長参加）

※県内児童生徒の体力及び運動能力の向上についてをテーマで話し合う。

※全国平均より、座高と体重が宮城県高い。

※体力、運動能力は全国平均以下である。

- ・ 7月30日 青少年問題協議会（中央コミュニティセンター）

※青少年関係団体が10団体あり、様々な角度から子どもたちを見守っている。落ち着いた状況で学校生活を送られるのも、このような団体や会員に協力をもらっていることがあることを強く感じた。教育委員会として深く御礼を申し上げた。

- ・ 7月27日 美里町親善大使候補者選考会

[県中体連の結果報告]

※東北大会等出場者を、資料の裏面に一覧として掲載している。

- ・ 小牛田中8名、不動堂中6名、南郷中2名

- ・ 南郷中学校女子柔道、早坂南美さんは県大会連続優勝。三重県伊勢市での全国大会出場。

- ・ 町民への周知のため、垂れ幕・看板を本庁舎、南郷庁舎、コミュニティセンター前に設置〔県大会優勝者〕。当該校である南郷中学校にも横断幕を準備している。

- ・ 8月2日午後 東北大会出場者の町長表敬訪問を予定している。

○委員長（佐々木勝男君） 教育長報告につきまして、詳しく御説明をいただきました。何か伺いたいことがございましたら、お願いしたいと思います。

ないようですので、次に進ませていただきます。

第3 報告事項

- 3 報告第30号 平成25年度生徒指導に関する報告（6月分）【秘密会】
- 4 報告第31号 平成25年度学校教育力アップに関する報告（6月分）【秘密会】
- 5 報告第32号 平成25年度学習の定着状況に関する報告【秘密会】
- 6 報告第33号 区域外就学について【秘密会】

○委員長（佐々木勝男君） 先ほども申し上げましたが、報告事項3報告第30号から報告事項6報告第33号までは、個人情報を含む非公開事項の報告となりますので、秘密会扱いとします。傍聴の方がおいでになったときは、その旨をお話し申し上げたいと思います。

〔以下、秘密会のため会議録の調製なし〕

○委員長（佐々木勝男君） 報告事項6、報告第33号までの説明が終わりましたので、暫時休憩とします。

休 憩 午後2時55分

再 開 午後3時 8分

日程第4 審議事項1 議案第18号 美里町教育委員会評価委員会委員の選任について

○委員長（佐々木勝男君） 休憩前に引き続きまして、会議を再開します。

日程第4、審議事項1、議案第18号美里町教育委員会評価委員会の選任についてを審議とします。提案説明を教育総務課よりお願いしたいと思います。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、議案第18号美里町教育委員会評価委員会委員の選任についてを、説明いたします。

法律によりまして、教育委員会は自己点検・評価を行うこととなっております。これにつきましては地方教育行政組織及び運営に関する法律の改正に基づきまして、平成20年4月から毎年事務の管理及び執行の状況について、点検評価をすることが義務づけられております。

美里町においてもこの法律に基づきまして行っておりますが、この評価につきましては外部の学識経験者により識見を活用することができるとなっております。これに基づきまして、毎

年3名の委員を選任していただいているところであります。

今年度につきましては、議案にあるとおり、昨年と同様ですが辺見先生、高橋先生、高橋賢一さんの3名を、この教育委員会評価委員会委員に選任していただきたく、提案させていただくものでございます。なお、任期は平成26年3月31日まででございます。ご審議をよろしく願います。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま委員の選任について説明をいただきました。

これは審議事項になっておりますので、選任の案につきましてご意見、ご質問をいただきたいと思えます。

（「なし。」との声あり）

質問がないようですので、承認してよろしいですか。

（「異議なし。」との声あり）

それでは、議案第18号は承認されました。よろしく願います。

日程第5 協議事項1 美里町教育委員会の点検及び評価について

○委員長（佐々木勝男君） 続きまして、日程第5、協議事項1、美里町教育委員会の点検及び評価について。この提案説明をお願いしたいと思います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、この分野については少し時間かかるかなと思えますが、御了承いただきたいと思えます。

○委員長（佐々木勝男君） 願います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、教育委員会の自己点検評価につきまして、前もって委員の皆様には、平成24年度事業、昨年度事業に対する点検評価をした報告書という形で配付をさせていただきました。これまでの経過をお話ししますと、昨年は点検する項目等々の御審議をいただきまして、昨年は12月の公表という形になったわけでございます。

しかし、通常いつまでやりなさいというなりものがございませんが、やはり議会に報告し、公表することという部分からしますと、9月が議会では決算議会と呼ばれている時期ですので、その時点でやはり報告すべきだろうなど。

それから、次年度の取り組みを考える上でも、やはり9月に報告して、そして次年度どのような取り組みをしていくか、それを考えて新年度予算につなげていくというふうなことからすると、やはり9月が適正な報告時期なのではないかということから、まとめましてこのような

報告書になってございます。

これは、事務局サイドでつくっている点検評価でございまして、これをもとに教育委員会での評価というふうに変わっていくというふうになるかと思えます。

それで、委員の皆様にお配りした後に、ここがちょっと字が抜けていたとか、丸が抜けていたとか、カンマが抜けていたとかいろいろなところがありました。事前にチェックしたつもりでしたが、抜けてしまったりしておりました。

それで、いろいろと点検評価の部分についてチェックをしてきていただいたのではないかなと思えますが、まずきょう机の上には新たな第3版というものがございまして、こちらに行く前に最初にお配りした内容で、説明を申し上げます。

この目的は、1ページを開いていただきますと、ここに載っているとおりでございます。

1つは、教育委員会がみずから活動、それから執行している事務に関しまして、点検評価を果たしていくということでございます。説明責任を果たすということでございます。それで、議会に報告をして、公表するというふうな形になってございますが、この2つの法的目的を達成するための報告書でございます。

1ページについて、昨年度と違う点をお話いたします。

第23条の部分が昨年はありません。23条の第1号から19号まで、今回は入れてございます。これは、評価するに当たって、上段では教育委員会がみずから活動、執行している事務という、それを評価するのだということを書いているのですけれども、それでは法的には何なのという部分がなかったのですね。2ページの上のほうには、ちょっとした文言はありますけれども、具体的な部分がありませんでしたので、この23条をここに入れたということでございます。

2ページ目のほうに移りまして、こちらのほうは教育委員会の内部職務とそれから委員名簿を書いてございまして、委員は交代しておりますから、その分の入れかえをしたというところでございます。

それから、3ページ目の組織表、ちょっと字が小さいのでありますけれども、現在はまちづくり推進課と分離しているために、現在の組織表というのは違っているのですね。例えば、教育機関の公民館以下全部、これはまちづくり推進課の所管ですね。ここが消えます。しかし、取り組んできてこの評価をするに当たって、今現在の姿での組織での評価ではないものですから、どうしても平成25年3月31日現在で絞り込みました。平成24年4月1日現在にしますと、幼稚園が違ふのです。そういったことで、苦し紛れに3月31日というふうな形にしました。

それから、この表の下の方にちょっと重複が見つかりました。学校教育環境審議会が左側

の表の一番下と線が右側に行っている部分が一番上ありましたので、これが重複していたということがございました。それで、昨年はこの部分が抜けていたのですね、付属機関としての扱いが。それを今回入れているというところであります。

次に、4ページ目になりまして、これはお金の使い方の部分が点検評価には必要でありますので、昨年度の数字である23年度と24年度の比較があったほうがいいだろうなということで、この表を今回入れました。一番上のほうの教育費で前年対比5億4,982万4,000円となつてございますけれども、この中身はこごた幼稚園の建設事業費です、ほとんどがそうです。そういったことで、前年度の対比を見るとわかるのかなということで、このようにさせていただきました。

5ページから8ページまでは、教育委員会が24年度に行ってきた会議の内容を書いています。昨年度は、何月何日に報告何件、議事何件という形でしか示しておりませんが、昨年度の評価委員さんの御意見を頂戴したときに、どういうふうな中身をやっているのかということが見えないというふうな御指摘もございましたので、内容を入れることにいたしました。

それで、報告に関しましては、本日の教育委員会でもありますように、秘密事項となる案件もがございます。ただ、タイトルという部分については、この部分にだけは公表してございますので、入れることは可能なのですけれども、これを入れるだけでも結構な数になります。

そこで、報告の部分については、数だけでいいのかなと。ただ、議案と協議に関しては、こういうことを協議して、そして議案はこういうふうなものを審議していますよというふうな部分を明示いたしました。

それから、いつもその他という部分でいろいろあるのですが、それは審議外の部分、教育委員会には大きくかかわることがございますけれども、やはりその部分まで表示しなくてもいいのかなというふうな思いで作成してございました。これが、5ページ以降でございます。

ただ、7ページの上の25年1月28日の協議の3番目で、字が抜けていました。地方教育行政の云々と、ついてなのですが、「いて」があるのですが、抜けてしまいましたので、修正願います。

そして、9ページでございます。これが、一番この点検評価をするに当たっての方法をここで書いております。大きくは、昨年とは変わりはありません。大項目の1と2、これを評価するということですが、ただ3の政策にかかわる事務、これはこのように学校教育の充実という部分があるのですけれども、こちらを9ページと10ページをちょっと両方見ながら説明しなければならないと思います。

まず、10ページのほうの表を見ていただきたいのですが、こちらは町の総合計画と、学校教育ビジョンのかかわりを昨年示した部分でございます。それで、この図に当たりまして、ちょっと間違いもございましたので、まず間違いの部分からお話いたしますと、左側の列、ここを前年度からしますと中段のほうに学校教育の目標というのがあります。3つあります。それから、その下に豊かな人間力を持った子ども、ここにも3つあります。これが、1つのくくりでなされていたのですね。これは分けるものだというので、御意見を頂戴いたしましたので、これを分けております。

それから、その下の就学前教育、小学校教育、中学校教育の部分につきましては、去年はこれが縦に3列ではなくて、横に3段だったのですね。図の表し方が違うのではないかという御意見をいただきまして、それを改めております。その結果、線が抜けてしまいました。下の線が抜けてしまいました。小学校教育からしか線行っていないようになってしまいましたので、これもちょっと改めました。

そういった訂正の中で、評価する項目でありますけれども、まず右上のほうに、欄外のところに総合計画でちょっと太文字あります。これを点検評価の対象とします。これは、中央の列の中で第1項の社会教育の充実、第3項青少年の健全育成、第4項の文化芸術云々、その下の第2項学校教育の充実、それから第5項社会体育の振興、これは昨年、評価したはずでございます。それで、この項の段階までしか評価していなかったのですね、去年。実際は、資料編としてこの節の部分まであるのですね。それがないと項のところ評価できないということもありましたので、それで昨年度評価委員の皆さんからは、余りにも抽象的でわかりにくと書いてある。ですから、もう少し節の部分までやったほうがいいなということでございましたので、もちろん評価委員の皆さんには節の部分の評価もお上げしてございましたけれども、やはり公表する上では、節の部分まであったほうがいいということで、ここまで評価するような形で今回は載せてございます。

それから、第2項の学校教育の充実の1節から6節までの関係については、去年は一応評価のところには入れましたけれども、中身は右側の学校教育の充実に向けてというふうにある程度タイトルが同じなのです。そこで評価したものを入れているのです。したがって、この学校教育の充実に向けてという部分について、昨年度評価してございますけれども、これは教育委員会が方針を立てたものを学校でそれを実践して取り組んでもらっています。その上で、教育委員会で持っている部分に関してどういうふうな評価だったかという部分を載せてしまったのですね。

ですから、総合計画の節の項目と名前は同じだけれども、中身が違うのです。そういうことでございましたので、この中段のほうの総合計画にかかわる部分について、お金絡みの部分だというふうに考えていただきたいなというふうに思ったところです。そういうふうな評価にもなっています。それだけでは、済まないで学校教育の充実に向けてと、それから一番下の重点努力事項に関して、別物として評価をしていますので、それを点検評価の報告書に加えてというふうな形に今回は整備しております。

そこで、前のページに戻っていただきますが、9ページ目の3の政策にかかわる事務、この備考欄の説明の部分に関して、これでもちょっと抽象的でございましたので、本日配付の点検評価の部分がございまして、それとちょっと見比べをしていただきたいと思いますが、同じページです、新しい部分。この項目は、総合計画の項と節を対象としまして、政策目標の達成のために、施策事務事業を展開した結果を点検評価しました。これは、先ほど言いましたように、学校教育ビジョン、それから重点取り組み事項とはまた別のものということで評価をしました。なお、2の学校教育の充実は、総合計画の項と節を対象とした点検評価のほか、小学校、中学校及び幼稚園が点検評価した学校教育ビジョン、各項ありますけれども、それと重点取り組み事項も掲載しておりますというふうに、2段階に分けて今回評価をしたところでございます。そういった内容で今回示しました。

それから、11ページに今度は実際の点検評価でございましてけれども、ここに最初にお配りした部分で言いますと、1の会議運営の②でございましたが、会議運営についてはと書いてありますけれども、会議でいいのではないかなど。

それから、教育委員会規則の規定により、教育委員会定例会と書いていましたけれども、これに教育委員会は要らないだろうなど、教育委員会のことを言っていますので。定例会、臨時会を開催したと、その状況は5ページから8ページですよというふうなことでございます。

それから、大項目の2つ目が、教育委員会が管理執行する事務はこのとおりに評価しました。特に2番目の規則規定等については、点検した結果24年度は特例条例の制定があって、例規の改正が多数ございました。法制執務においては、専門知識が必要であり、研修機会の確保が必要であるということで載せましたが、事実上は研修機会があっても、手につけられる状況にはなく、点検して直さなくてはならないのが結構ございます、見た限りでは。それを法制、法律に合わせた形で直すというのは、至難のわざでございまして、時間をかけてやっていきたいなというふうなところでございます。人員が欲しいとはかけませんので、そういった評価をしました。

それから、12ページです。これが、目標、実績、点検評価というふうに去年の項目と同じなのですが、昨年は実績のところと点検評価に書いたように、Bのおおむね達成していると書いてしまったのです。達成しているとか何とかというのは、点検評価でそれが実績ではないだろうなということで、逆に今回しています。例えば、社会教育の充実なのですが、これも1から5まで小項目分かれていますね。一番上のほう入れかえたらいいのちよっと迷ったのですけれども、ただ全体的な部分がなければちよっと書けないなど、把握できないなどと思ひまして、小項目の1から5を把握した上で、一番上の項の評価をしました。

これの中身を見ますと、例えば生涯学習に即した云々と書いてありますけれども、目標はこうでした。学習者が云々。実績は学習機会を提供した。点検評価した結果、Bのおおむね達成していると思うと。だけれども、こういうことでしたというふうに評価をしたところです。

この評価に当たっては、担当部署で評価してございますので、これは現在のまちづくり推進課のほうでつくっていただきました。この部分に関しましては、区切りをピリオドでやる、カンマでやることを点になっているところが結構多かったのです。これを全て改めております。

そういったことで、この第1項の部分については、このような形になりました。

それから、第2項、先ほど言った総合計画の上での評価と、それから小中学校でやった部分、学校教育ビジョンから見たタイトルは同じなのですが、評価の内容が違うという部分が13ページの一番上の個性、心、基礎学力を重視した教育の推進という同じようなタイトルがありますけれども、ここで目標は①から③が目標なのです。総合計画上は、その実績については、このような実績だったと、そして評価はこのようにしたということでの評価なのです。これが、先ほどの小中学校のほうの評価から行きますと、19ページをちよっとごらんいただきたいと思ひます。

19ページの一番上が、個性、心、基礎学力を重視した教育の推進、タイトル同じですね。でも、評価の項目、中身違いますね。そういった部分で違いがあるということなので、こっこの11ページから載せている部分は、総合計画上の部分です。それから、19ページの部分は教育ビジョンから見た評価です。とそういうふうに分けました。去年は、19ページ以降に載った部分が、前に来たのです。それで、総合計画上のこの部分が去年はありませんでした。そういったことで、この第2項の部分に関しては、1項から14ページの6項までそういうふうな形になってございます。

それから、14ページの青少年の健全育成、それから文化、芸術の振興、16ページになって社

会体育の振興でございますが、この部分についてもカンマを振るところが点になっていたり、字が余計な字が入っていたり、漢字の違いがあったり、行がずれていたというふうなところがございますので、それらを訂正させていただいたのが本日配付のものでございます。多分きょう配付の資料でも直っていない可能性もあります。それをちょっと説明だけ先にさせていただきますまして、御指摘を頂戴したいと思っております。そういったことです。

それから、戻っていただきますが、12ページの点とピリオドはいいですね。文字すけれども、1項の2の実績のところの②ですが、講話をはじめ疑似妊婦体験という、講話をはじめは漢字なのですよね。何々を「初め」としてという部分とか、そういった部分がありました。

それから、13ページの一番下の部分で、真ん中の④、各小学校では地域見守り隊が全部左側に行っています。これを右に寄せたと、ここです。④の下が空欄になるはずなのだけれども。

それとか、14ページの5節の真ん中、①栄養士、②が学校教育環境云々と書いていますけれども、②これは削除ですね。審議中ですから実績でないのですよね。これはなぜかという、審議会の部分は、13ページの中段ごろの2節に入っているのです。計画的な施設修繕と、教材説明のところにあるのです。給食だけがこうだということではないのですよ。給食の段にこれはあえて要らないだろうなど。

それから、中段ごろ、3項の第1節青少年の関係です。その実績のところなのですが、未就学児から中学3年生まで各発達段階における貴重な体験活動を行ったと、こういうふうにありますけれども、貴重だと思っているのは事務局なのですよ。それで、未就学児から中学3年生までの発達段階における体験活動を行ったということかなと。

それから、あと14ページが一番下の行です。まず、左側の目標のところですがけれども、①の鑑賞会ありまして、文化団体活動の支援と、さらにはなのですね。つなぎの字ですよね。さらに、住民による云々とは要らない。それから、②は文化協会に加盟する団体を「はじめ」、ですからこれも漢字なのです。それから、実績のところは、今度は①のところ、文化会館自主事業、小中学校芸術鑑賞などの開催や、町民文化祭やと、やが2回なので、文化祭及びというふうにちょっと直しています。それから、その右側のおおむね達成しているのが一部がBの下に来ていましたので、これを右側にずらす。その上もちょっとあったのですけれども、こういうところがありました。15ページの今度は一番上で、実績のところの③なのですけれども、支援に寄与した、寄与したと思っているのは事務局だけなので、文化団体への支援を行ったというところですね。あと、右側の「の」と「と」を多用していたり、今後の各種資料の収蔵場所及び国事業廃止時ですから、廃止時における人員確保が課題となるのです。そういったところ

とかありました。こういうところをちょっと修正しました。

それから、16ページにつきましては、ここからが教育ビジョンの点検評価でございまして、小中学校のトータルになっています。9校ありますので右側のABCのところ足しますと全部で9になります。そういった部分で書いておりました。それで、行ズレなどの部分を修正かけています。

それから、17ページもそういうことです。18ページは、これは中学校の部分ですね、小学校の部と中学校の部に分けたのです。さらに、19ページから分析と考察でございまして。これは、三浦学校教育専門指導員の苦肉の策でございまして、表を入れました。16ページの表を。そして、分析と考察を行っております。そうしましたら、表と考察は同じことなのですね。これ表を見ればわかるわけですよ。これは外してもいいのかなと。本日配付の部分については、この質問事項とこの部分については除いた部分で一応整理しております。

こういった形で23ページまでなりまして、24ページからは幼稚園の点検評価でございまして。同じような形でございまして。28ページからは、重点努力事項に変わります。

このような形態で今回平成24年度事業の点検評価の事務局の原案といたしますか、御審議・協議をいただく上での資料ということにさせていただきたいと思っております。

今皆さんに事前に配布して、いろいろお目通しをいただいたと思っておりますが、もしきょう配付の部分に間違い等々がございましたら、賜りたいと思っておりますし、最もそれ以前にこういった評価の内容でよろしいかどうかという部分が先に立ちますけれども、御教授、御指導いただければと思っております。

委員長、以上でございまして。

○委員長（佐々木勝男君） 事前にお渡ししていただきましたのと、本日渡りました修正していただきましたのと比較しながら御説明をいただいたわけですが、まず全体的な点検評価報告書の形式についてが1つ、あとは詳しい内部における評価項目のことについてということになるかと思いますが、そういったところの大枠としては全体的な形式、次にそれに基づいた具体的な大項目から中項目、そして節というようなことの中での評価のあり方がこれでよいかどうか、いろいろな角度から見ていただいて、御意見をいただければなと思っております。どうぞ。

○2番委員（成澤明子君） 新しいほうの5ページから教育委員会の会議状況というような示されているのですけれども、協議の内容は書いてあって、報告は数だけにしたということなのですが、例えばいじめに関することであるとか、あるいは美里町の学力についてであるとか、あ

るいは学習の定着状況についてというのは、保護者の方々、あるいは一般市民の皆さんがすごく関心があると思うのですね。それで、そういうことについて、何ていうか、説明義務というか、よく理解してもらえるには報告の中にそういう項目だけでも、書くのはどうなのでしょう

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それは、全くそのとおりでなと思います。タイトル的には、いろいろ可能でございますから。ただ、ちょっと今年と去年の違いがあるのですね。タイトル絞って1つに統括しているのですね、今年。去年はもう少し細かい項目だったので。それを入れることはすぐできますので、これは構いません。今年の部分ですと、きょうの会議の中ですと、「平成25年度生徒指導に関する報告」という部分で中身があるのですけれども、そういった部分がここに報告の1つの項目としてあらわれるということになりますから。ただ、生徒指導に関することって、見る人が見ればわかるのでしょうか。構いません。それは。

○学校教育専門指導員（三浦満君） それは、25年度から変わったのですけれども。その前は「いじめ」などの問題行動と言う文字が入っていましたね。24年度の一部で。

○2番委員（成澤明子君） 前までは書いていたのですか。具体的に。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 去年ですか。去年は、会議の項目にもそういうふうなタイトルで入っていましたし、この報告書は数だけしかなかったということですね。

○3番委員（三浦昌明君） 定例会では毎回報告なされていますよね。去年だといじめ問題。学校教育力アップですね。これは毎回報告受けている、一括して。表現でもいいのですよね。毎回やっているのだということを示せば、最後にね。

○2番委員（成澤明子君） 秘密といっているけれども、一体どのような秘密会しているのかというか、やっぱり一般の方に説明責任みたいなものがある。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ちょっと入れてみないと判断できません。最後に入れてやるのがいいか。例えば、区域外就学とか、毎回出ますよね。これと、これは毎月ありますとか。

○3番委員（三浦昌明君） かえって紛らわしくなるかもしれないね。入れるなら、そのときそのときに、タイトルに入れてしまったほうが良いのでは。

○2番委員（成澤明子君） 例えば7月は報告7ですよね。結構膨大な数にはなりますよね。4月がこうで。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） これは、タイトルはもともと公表していますので。告示のタイトルそのままなので、大丈夫です。

- 2番委員（成澤明子君） でも、皆さんが知る機会がほかにあるのであれば、あえてここに書く必要がないとは思いますが、それでも。
- 教育長（佐々木賢治君） 多分成澤委員さんが言うのは、報告というのが毎回あって、そこが空欄になっていると。それで、生徒指導に関すること、教育力アップに関すること、それから学習の定着状況に関すること、これについては毎回報告、定番にやっておりますと、それを記載したいと、あったほうがいいのではないかと。であれば、7ページ欄外空白ありますよね。そこに米印でもつけて、毎回報告事項の中に次の3点が入っておりますぐらい、書き方としてね。もう1回その都度そこにその文言を書くの、そのスペースであれなので、そういうふうに入れたほうが良いのか。
- 3番委員（三浦昌明君） ただ、臨時会などはないわけだから。
- 教育長（佐々木賢治君） 臨時会、定例ですよ。臨時も入っているのか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） こう思ったのですよ。例えば報告1というのがありますね。今三浦委員さんがおっしゃった。この報告1は何かというと教育長報告なのです。教育長報告の中にも3つ、4つありますよね。だから、教育長報告というのは毎回入れていきます。それも1件。
- 3番委員（三浦昌明君） でも、例えばね、その大きいタイトル、報告7件なら7件あるタイトルだけここに足した、言ったとしても全体ではページ、1ページか2ページふえる程度です。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） そうです。
- 3番委員（三浦昌明君） だったら、もうタイトルだけでも全部載せたほうが、判りやすいかなと。逆にこれだけやっているのだよというふうなアピールにもなる。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それは、構いません。
- 3番委員（三浦昌明君） かえってそのほうが面倒なくて、入力するのは面倒だが。
- 2番委員（成澤明子君） 見るほうは、「ああ、何だ毎月同じことやっている」と思いながらも、こういうことに関しては、教育委員会はずり組んでいるのだなという理解をしてほしいなと思います。
- 3番委員（三浦昌明君） そうですよ。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 一応全部入れるという形でやりたいと思います。
- 教育長（佐々木賢治君） それは、報告ある分みんな入れるということですか。ほか何件ではなくて。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ええ、全部。

- 教育長（佐々木賢治君） 教育長報告とかそういうのも全部ですか。
- 2番委員（成澤明子君） 行事予定もです。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 中身何かと言われたら、教育長さんに答えてもらえないかな。
- 委員長（佐々木勝男君） これは実績報告だから。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長さん、こう思うのですけれども、今成澤委員さんから言われたことに対しては、教育委員会が町民の皆さんに何をしているかということをもっと教えると、知ってもらうということがまず法律の目的でもありますから、やはりこの辺も載せたほうがいいのかと思いますので、追記させていただきたいと思います。
- 委員長（佐々木勝男君） ページ数は増えることになると思いますけれども、今の話のように、定例、あるいは臨時で取り扱った場合でも何を行ったのかについては、付記するということになりそうですね。ありがとうございます。
- ほかに御意見をいただきたいと思います。
- 教育長（佐々木賢治君） ちょっと今気付いたのですけれども、3ページ、組織表なのですが、一番下附属機関、「社会教育委員」とあるけれども、社会教育委員会、その会の名前そこに社会教育委員というのは、委員の固有名詞ですね。附属機関だから社会教育委員会なのかなと。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ここは、確認をさせていただきます。
- 教育長（佐々木賢治君） 平成25年度からこの部分なくなるのでね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 社会教育の関係は、これは例規をなくさない限りは、教育委員会に附属してきます。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 補助執行ですから、残りますね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ここは、例規というか、規則見ないと。
- 教育長（佐々木賢治君） そうだね。確認をお願いします。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 确实なところわかったほうがいいですよ。
- 委員長（佐々木勝男君） 例規の確認のため、暫時休憩とします。今、資料を持ってきていただきますので。その間、他の部分を見ていてください。

午後4時 2分 休憩

午後4時 5分 再開

- 委員長（佐々木勝男君） 会議を再開します。先ほどの例規の確認ですね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 社会教育委員につきましては、社会教育法の17条にありまして、美里町においては、美里町社会教育委員の設置に関する条例ということでございます。社会教育委員会とは言っていないのですね。委員なのです。

この社会教育委員の会議運営に関して必要な事項は、教育委員会が別に規則で定めるということで、もう1個「社会教育委員の会議運営等に関する規則」、こちらで定めておりますが、この中身を見ると「社会教育委員会」という名称はありません。

○委員長（佐々木勝男君） 附属機関は、社会教育委員という文言になっていますが、そのとおりということですね。

○教育長（佐々木賢治君） はい、わかりました。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長さん、もう一つ、美里町のこれは教育委員会の組織規則というものがあります。これは、中身は何かというと、教育委員会の事務局に何々課、何々課を置くと。そのほかに、学校の設置に関する条例で定められる部分の学校は、どこと、それから文化会館とか、地区公民館とかこういった部分が全部あります。今回、これは廃止している部分もありますけれども、36条に法令または条例の定めるところにより設置された附属機関の名称ということですので、こちらは別表によると、法令によるものは社会教育委員というふうに明記されてございます。そのほかの条例によって定められたものは、ここにありますように、心身障害児就学指導審議会こちらは会です。それから、学校給食調理施設運営委員会ですね。それから、新たにしております学校教育環境審議会、それからこれは法令で認められている部分で、近代文学館の運営審議会とか、こちらは全てこういう会の名称になっております。どういうわけか社会教育委員だけになっております。

○教育長（佐々木賢治君） わかりました。

○3番委員（三浦昌明君） あとですね、10ページの表というか、こちらなのですけれども、説明で大体は理解したつもりですけれども、今ひとつ、上は総合計画の中に載っているためにこれが点検評価の対象ですと、第2項の学校教育、これは別枠で出しました。第5項の社会体育、これが学校教育ビジョンに載っているけれども、対象内というふうになってしまうのですか。これが少し理解できない。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） これは、右側の上の欄外の総合計画、ちょっと太文字で書いていますね。この四角で囲っている太い文字、太い部分、これが総合計画の対象分野だよというところを意味したのです。本当はカラーなのです。着色されている。

○3番委員（三浦昌明君） そういうことですか。

- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） もう少し線を太くしますか。
- 3番委員（三浦昌明君） 総合計画、上の段だけにかかっているものと見たわけです。
第2項が下に来ているでしょう、わざわざ。順番的にね。だから、何かそういうふうに思ってしまったわけ。
- 4番委員（佐藤三昭君） 色別だとわかりますよね。
- 3番委員（三浦昌明君） わかるのかもしれないけれども。でも、意図的に順番を変えているだろうし、何かそういうふうに見てしまう可能性があるのかなど。
- 教育長（佐々木賢治君） 順番変えたのは上のほうが社会教育ですよ。真ん中は学校教育ですよ、下が社会体育ですよ。
- 3番委員（三浦昌明君） ですよ。むずかしいですね、これね。ここまでつくられたのもすごいと思うのだけれども。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 今ふと思い付きました、済みません。これと関連することなのです、委員長さん。ここにあります1項、2項、3項というのは、現在は総合計画修正版になっています。ですが、24年度の決算においては、この項目なのです。事務事業評価はですね。ですから、ここを変えるわけにはいかなかったのですよ。現在は、項と節になっていますけれども、施策何々というふうに変わっているのですよ。
- 委員長（佐々木勝男君） 前の部分は政策とか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 前の部分はこれなのです。
- 委員長（佐々木勝男君） 今度変わったのが施策とか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 施策とかになっているのですけれども、それは来年の評価で、25年度評価になるということです。
- 3番委員（三浦昌明君） 社会教育の次に学校教育が急に中に入っているからなのだな。順番がね。
- 4番委員（佐藤三昭君） 吹き出しをここにつけるのはどうですか。さらに、吹き出しをペー
ストしてここに。
- 3番委員（三浦昌明君） 全部にとにかくかかるようにということね。
- 4番委員（佐藤三昭君） ちょっと社会教育の充実に向けてを、枠を上げて、線でつながった
らわかると思うので。
- 教育長（佐々木賢治君） 1つのマスにしてしまうのですか、大きく1つに。
- 4番委員（佐藤三昭君） それか、マスにしてしまうということで。

- 3番委員（三浦昌明君） それでもいいだろうし。離れているから、何かね。
- 4番委員（佐藤三昭君） マスにして太線あれば。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ここにもう一つ枠を入れればいいのですか。
- 3番委員（三浦昌明君） そうだね。大枠入れてしまって。総合計画これだよと。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） やってみます。
- 4番委員（佐藤三昭君） 表の体系が変わるわけでないからね。項目は変わらないと思います。
- 委員長（佐々木勝男君） 太枠のところは、点検評価対象のところになっていますよということですね。ですから、米印でもいいから太枠の部分の総合計画の総合点検評価対象の項目であるというような表示をすれば。あとはこれに基づいての12ページから15ページまで図に従って見ていくということになりますが、ただ、先ほどの順番が1、2、3、4、5となっているということで、照らし合わせたときにそのところが変わるということですね。それで違和感がなければ。
- 10ページに合わせてしまうと、順番に合わせてしまう12ページから15ページまで入れかえると、今度は文字が変わったり問題点がでてきますよね。12ページからは順番どおりの1、2、3、4となっていますので、これは動かさないほうがよろしいかなと思います。
- 10ページの場合は全体評価の計画なのです。評価計画のね、全体計画というのかな、そういう捉え方をしてもらえればよろしいかなと思うのですが。
- 3番委員（三浦昌明君） また余計なことを言いますが、9ページと10ページを比べて見ていたのですけれども、9ページの3番、政策にかかわる事務のところ、要は10ページの総合計画の内容となっているのですよね。9ページと10ページの順番が違ってくるのだな。これはしよがないか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 9ページは1、2、3、4、5と並んでいるけれども、10ページは1、3、4、2、5ですね。
- 3番委員（三浦昌明君） やっぱりここでこうになってしまう。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 学校教育ビジョンのくくりに合わせてしまうと、こうなるのですよね。逆に表のほうを番号ずれさせてしまうと、かえって違和感ありますよね。さらに、さっき委員長さんが言われた12ページ以降の順番を変えられても。
- 3番委員（三浦昌明君） そうですね。ここがちょっと判りづらいのかなと。こうやって説明されればわかるのだけれども。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 説明なしで見てもらってわかるようにと思って、こ

の10ページの表をつくったのですけれども。なかなか難しいですね。わかっているために
はね。

○2番委員（成澤明子君） いいですか。やっぱり9ページに1、2、3、4、5となっていま
すけれども、10ページに来て、1項、2項、3項とそのまま5まで行っても大丈夫じゃないか
なという気もするのですけれども。学校教育のところを目立たせるためにこれ順番変えたとい
うことなのでしょうか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） この表の中央部の上のほうに、美里町の教育で目指
すもの、社会教育とありますよね。四角い箱の学校教育ビジョン、このくくりが1項、3項、
4項なのです。だから、1、2、3、4と並べてしまうと、2項だけ別な分野なのです。

○3番委員（三浦昌明君） 学校教育が突然と中に入ってしまう。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 例えば、教育基本方針の左側の表ができれば、ずっ
と並べていって左側に付記できるのです。けれども、左側の表があるために入れようがなか
ったのですよ。

○4番委員（佐藤三昭君） 学校教育ビジョンのほうは、目指すものが社会教育と学校教育と社
会体育と。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） そうです。

○4番委員（佐藤三昭君） ここの枠は太枠どおり行うのですけれども、ここにも色は付くので
すか。色をつけて表示をする。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） こういう感じとなります。例えば、教育ビジョンの
ほうはオレンジなのです。総合計画は黄緑の部分なのです。だから、これを合体させるとどこ
か欠落してしまう。

○4番委員（佐藤三昭君） わかるような気はするのですけれども、さっきの枠組みを、1つ大
きい枠をつくることで、学校教育ビジョンと総合計画とわかるように、1つ枠をつくることで
できると思うのです。

○委員長（佐々木勝男君） この方法で1回やってみたらどうですか。

○4番委員（佐藤三昭君） それでわかると思います、私は。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ここのところに何か付記すればいいかな。ここに総
合計画における云々と。

○3番委員（三浦昌明君） スペースもとらずにわかりやすくするのは、枠をつける程度かな。

あと、もう一つ。ここの社会教育と学校教育と社会体育とあるじゃないですか。これを少し

目立つようにしてあげたらいいのではないかな。ビジョンの上に美里町の教育で目指すものは全部同じだとか。目指すもので上が社会教育、真ん中が学校教育、社会体育とこう分類したわけですね。この分類が目立たないから一目で、理解し辛いのかな。字体を工夫するとか。そうすれば、ああ、そういうくくりなのだなというのが、ちょっと総合計画の太枠と太文字が目立って、分類そのものが目立たなくなってしまうから。

○教育長（佐々木賢治君） 大きなタイトルがあって、美里の将来像、目指す町民像、教育基本方針がどんとあって、それを1つの組織でないのだけれども構想図のようですね。だから、あえて横書きになっていたものを1つの構想図に、よく学校教育などでつくるのですけれども、1ペーパーに構想図、図式化するところになりますよと。そういう視点で見てもらうと順番は多少変わっても何ら不自然ではないなという。間違っただけ配列替えしたのでないよと。それは、全体の構想の中でこういう総合計画と学校教育ビジョンの関連でこういうふうになっているのかという見方になるのかなと。

例えば、きょうお配りした美里町の25年度版の5ページを見ていただくと、中身は違うのですけれども。来年になるともっとすっきりした形になると思うのですけれどもね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） そうですね。さっき話した色つけたのは、25年バージョンなのです。タイトルは変わることはないのです。施策が節とか項とかの部分に変わっただけなのですけれどもね。

○3番委員（三浦昌明君） 学校教育ビジョンの点検評価にかかる分析と考察については、新しいバージョンがすっきりしていいですね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） きょうの提案部分ですね、第3版。

○4番委員（佐藤三昭君） 表に下のところはすごく簡易されていていいですね。表で見たことを改めて何度も書かなくてもいいと。

○3番委員（三浦昌明君） わかりやすくなっていますね。

○委員長（佐々木勝男君） よろしいですか。

○3番委員（三浦昌明君） あとは、いいと思います。

○委員長（佐々木勝男君） それでは、あとは全体を通して見ていただいて、今のところ文言について、特に修正する箇所については大きなところはなかったのですが、もう一度もっと通していただいて表現の仕方についてとか、句読点とか、順番について、整合性なども見ていただければと思います。この辺は事務局側で見ていただければと思いますが、お願いしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

それでは、ただいまの協議事項の点検評価については、御異議なしということでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

それでは、協議事項の1、美里町教育委員会の点検及び評価については承認ということになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長さん、この報告書なのですが、先ほど御指摘いただいた部分を差し替えいたしますけれども、それを評価委員の方々にさらに評価していただくということになると思います。前にお知らせしてあるとおり、9月の時点で公表したいというふうに考えておりますので、来月になりますとお盆が入りますけれども、その辺ちょっと時間がないのですけれども、評価委員の皆さんに御了解をいただきまして、何とか仕上げたいと。

最終的には、教育委員会でまとめの部分をどうしてもしなければなりませんので、それをもって議会報告、そして公表という形になると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（佐々木勝男君） よろしくお願ひします。

日程第6 その他1 教育振興基本計画について

○委員長（佐々木勝男君） それでは、議事日程の第6、その他、1、教育振興基本計画について、御説明をお願ひしたいと思います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、教育振興基本計画につきまして、これを説明させていただきます。

きょう配付いたしております1枚もの、それからA3版の3枚もの、こちらにつきまして、これは改正された基本計画とそのものについては、分厚い資料が事前配布させていただいたと思いますけれども、それをなかなか全体熟視する部分については、大変だろうなと思ひまして、一応説明だけにとどめさせていただきたいと思ひます。

この教育基本計画そのものにつきましては、経過としまして、平成25年6月14日に第2期の教育基本計画が閣議決定されてございます。同日国会報告がなされておりますので、それを受けて、今度は2つ目でありまして、教育基本法の第17条の規定で、政府がつくらなくてはいけないと、方針をつくらなくてはいけないということになってございます。方針をつく

った上で、基本的な計画を定めるとしているものがこの教育振興基本計画ということになります。

3つ目でございますが、平成20年7月1日に第1期の教育基本計画を策定しておりますので、これを廃止して第2期基本計画に移るというふうになったものでございます。

この内容につきまして、3つほど書いてありますけれども、この内容的な大きな部分ですね、これを書き出してみますと、1つ目が自立、協働、創造を基軸とした生涯学習社会の構築に向けて各般の施策を推進することとしているようです。

2つ目としては、第1部に総論というふうに書いておりました。その総論の中でも、生涯の各段階を貫く教育の4つの基本方向性を設定されているものです。

3つ目でございます。第2部の各論の部分でございますけれども、これはP D C Aサイクルが機能するように明確な8つの成果目標を設定し、その成果目標を実現するための具体的、かつ体系的な30の基本施策を示しています。

このA3版の表の1枚目でございますけれども、この4つの基本方向性といいますが、上のほうにあります1、2、3、4というふうに書いてある部分でございます。これを、どのようなものであるかという部分が、この概要版なのでしょうかね、こういった部分に設定されているようでございます。

そして、8つの成果目標という部分でございますが、2ページ目を開いていただきますと、左側の上のほうに、白抜きで書いてある1、社会を生き抜く力の養成、2、未来への飛躍を実現する人材の養成、これらが基本的方向性なのですよね。それを受けて、その下にあります大きい数字の1、2、3、4、これが8つの成果目標。その下のほうに、3ページ目になるのですけれども、その下に今度は基本施策があります。まず、2ページ目のちょっと上を見ますと、4つのビジョン、8つのミッション、30のアクションということで、基本的方向性示されて、成果目標が示され、基本施策があると。それを全部一覧にしたのが、最後のページというふうになります。

ここで、上の表を見ていただきますと、段階的にですから就学前、義務教育、高等学校等、そして大学等、というふうに区分が分かれています。就学前に該当する部分は、何なのかというと、施策でいえば、1、2、3、4、5ですね。義務教育は、施策の1234が高校のところまで伸びていますから、これは、就学前義務教育高等学校までくくりがあるということになります。大学の部分に関しては、施策の8つ目というふうな形で載っておりますので、こういった教育振興基本計画が第2期として定められておりますので、御承知おきをいただきたい

というふなところでございます。

なお、これは事前にお上げした資料の中で、教育基本法を改正したときの図の流れを示した表があったと思うのです。1 ページ目。そうです。そこで、教育基本法が改正されたのが平成18年でした。

それを受けて、教育3法といいますけれども、実質教育4法なのですね、中身はね。学校教育法、地方行法、教育免許法、それから教育基本公務員等特例法と、実際は4つの法律です。でも、教育3法と。この中で、教育基本法が改正されたことによって、17条の規定により国会でこれを示した。それが、基本計画の第1期目がつくられたのが平成20年、そして5カ年計画の中で第2期の基本計画が定められた。それぞれ、地方教育委員会、これには県も含まれます。県のほうで定めてあるのが、平成22年に制定されました第1期のアクションプランということがございます。県のほうのアクションプランが平成25年3月に改訂版として公布されています。これは、25年度まではそれで行きますよということなのですね。国で、第2期今度示されておりますから、25年度以降の5カ年間を示されましたので、ある程度踏襲しながら、進めなければならぬということでございます。

そういったことを前提に置きながら、美里町教育委員会としての教育振興基本方針を定めていく必要がありますし、さらに、A4版の1枚ものの、一番下の追記の部分ですけれども、これは地方公共団体の部分、県も市町村教育委員会もこれに計画を策定するように、適切に対応してくださいということが申し添えられております。ただ、計画を策定するという部分については、努力義務になってございますが、先ほどの自己点検評価のように、総合計画、それから、学校教育ビジョン等々示してございます、それぞれ。その部分について、計画自体持っております。それを国のほうの方向性がこういうふうな方向性になっているということに合わせて、町の教育委員会がそれを全部踏襲して点検しなければなりませんけれども、そこまで踏み込んでいくという部分については、相当なエネルギーが必要です。これは、基本方向性が間違っていなければ、事務事業、さっき言いました総合計画の施策の一つ一つの事務事業の部分については、何も変えることなくその方向性に向かっていくということになるかと思っておりますので、ただ、国の方向性と違うことをやっている部分については、やはりしっかりと議論していかなければいけない、そういうふうに思います。

ただ、今現在示されたばかりなので、私どもの点検の部分まで至っていないのが現状でございます。まずは委員の皆さんにこういった教育基本法の第2期の計画が出されましたよという部分について、御承知おきをいただきたいということで、きょう差し上げたものでございま

す。よろしくお願いいたします。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま御説明をいただきましたことについて、先ほどの国から示されたものの項目、あと前もってこちらのほうの宮城県の第1期アクションプランというのが、平成25年度改訂版というの、これもお持ちだと思いますのでそれと関連させても結構でございますが、何かこのことについて御質問ございましたら、お願いします。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長、1つだけよろしいですか。美里町では特例条例によりまして、町長が執行する事務を分けました。平成25年から。この第2期の教育振興基本計画の中には、生涯学習にかかわる分野のケースも発達段階に応じた部分であるわけですから、それらの部分についてまちづくり推進課と詰め部分が必要かなというふうに考えています。

ただ、この基本計画策定されている部分については、教育委員会のほうに通知が来ておりますが、まだ町のほうに行っているかどうか定かでないので、その辺を確認しながら進めていきたいなというふうに思っております。何も文部科学省だとか、総務省だとかいろいろ省庁はありますけれども、大きな意味では教育振興ですから、そういった形でありますよということは申し伝えていきたいというふうに思います。

もう1点だけ済みません。前にお上げしました背表紙のついた部分、奇数ページが抜けておりまして、大変申しわけございませんでした。それは使用不可になりますので、きょう配付の教育計画と差し換えをお願いしたいと思えます。

○委員長（佐々木勝男君） 前回までに渡されたのありましたね。背表紙がついているの。あれは差し換え前の資料ということで。本日配付の教育振興計画が資料となります。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 先に配布した資料は、置いていってもらって結構ですから。

○委員長（佐々木勝男君） これについては、どうですか。よろしいですか。

○教育長（佐々木賢治君） 1つだけ、教育振興基本計画、国のほうであくまでも第2期の基本計画ということで示されていますが、特に3枚目などを見ますと、生きる力の確実な育成ということで、いろいろ項目出ていますが、最近教育再生実行会議というものが国のほうでやっておりまして、よくマスコミ等が出てくる内容が全部ここに出ているようであります。

それで、例えばこの中身を見ますと、道徳の教科化とか、それから土曜日の授業どうのこうのとか、これは検討事項とまではなっているのですね、国のほうでは。ですから、これは当然国の基本計画が打ち出され、そして今度県教委のほうでも当然動きが出てくると思います。で

すから、それはそれとして、美里町としてどうしたらいいのか、じっくり実態に即した計画が必要になってくるのかなど。こういうふうに国で打ち出したからすぐ美里町で土曜日授業行いますよとか、そういった考え方では私はよくないと思いますので、一応教育委員会事務局としてはそのような考え方であるということ、事務局内で話しております。申し添えさせていただきたいと思います。

○委員長（佐々木勝男君） ありがとうございます。御質問等はいいですか。

（「はい」の声あり）

それでは、これについてはその後の動向についても示されてくると思いますので、折々会議の中で御意見をいただく場面、美里町との教育とのかかわり、どういうふうな浸透というか進み方、進行があるべきなのかということがそれぞれ委員の皆さんから御意見をいただく機会があると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

日程第6 その他2 いじめ防止対策推進法について

○委員長（佐々木勝男君） 次に、その他の2番でいじめ防止対策推進法について、御説明をお願いします。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、説明をいたします。この部分についても、御承知おきをいただきたいということで、資料を準備したものでございます。

きょう配付したのが1枚もの、それから事前配付のものもあろうかと思いますが、このA4版1枚ものでちょっと説明をいたします。

経過でございますが、平成25年6月28日、法律が公布されてございます。この施行は公布の日から起算して3月経過した日ですから、9月29日だろうなというふうに思っております。

今回のいじめ防止対策推進法につきましては、いじめの定義がこのようにしなさいというふうなことで、規定されております。それから、内容の1つ目でございますが、国に対してはこういうふうな通称いじめ防止基本方針というものを策定しなさいと、策定義務です。

2つ目の地方公共団体に対しては、努力義務として地域いじめ防止基本方針を策定しなさいと。

学校に対しては、これは策定義務でありますけれども、国が定めたいじめ防止基本方針及び地域いじめ防止基本方針、地方公共団体が定めたもの、これを参酌して学校の実情に応じた同様の基本方針を策定しなさいと。

4つ目は、学校の設置者、その設置する学校には発生防止措置がありまして、重大事態への対処等について、規定がございます。

それから、5つ目として、地方公共団体の部分では、いじめ問題対策連絡協議会を置くことができるというふうにされたものであるということでございます。

この部分につきましては、7月、今月通知をいただいたばかりでございまして、まだ個々の法律よっての動きはまだしてございませんけれども、これまでも学校、教育委員会ではいろいろこの問題については取り組んできております。きょうの報告でもございましたように、いろいろと検討を重ねながら未然防止、そういったことも考慮してございます。ただ、法律は法律としてこのような動きがございますので、まずは委員の皆様にご承知をいただきまして、これから教育委員会としてどのような形でこれを行っていくか、もう1回事務局サイド、教育長と整理をしながら、対応してまいりたいというふうに考えてございます。

なお、先日事前に配付してあります資料には、本編の法律そのものがなかったもので、きょう配付をさせていただきます。その際に、衆議院と参議院で附帯決議されている部分もありますから、こちらのほうも見ていただきまして、内容把握をお願いしたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（佐々木勝男君） ただいまのいじめ防止対策推進法について、お伺いしたいことございましたら、お願いします。

本日配付いただいた資料もございますし、推進法の法令につきましても、少し時間をかけて見ていただくことが必要かと思っておりますので、これについては次回以降またお気づきの点をお話しただければと思います。

この件については、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

日程第6 その他3 小学校・中学校における租税教育の推進について

○委員長（佐々木勝男君） では、次に進ませていただきます。その他の3番、小学校・中学校における租税教育の推進について、この点について御説明をお願いします。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、資料に基づいて説明をいたします。

この小中学校における租税教育の推進については、教育委員会の定例会、5月で一応協議をしていただきました。その背景について、その際に説明したかと思っておりますけれども、平成23年

の税制改革大綱ですね、こちらによって租税教育の意識啓発ということが示されてございます。税務課長のほうから、教育総務課長に対し小学校、中学校で租税教育についてどういう形で取り組まなければならないのではないかと、税務課ではいろいろな角度から協力するよと、資料の作成、提供、講師としての勉強会支援ですかね、そういったものもできますというふうなお話を頂戴しております。5月の時点では、取り組んで行かなければならないというふうな確認をした中で、学校長を通してどういうふうな形でできるか、いつできるか、そういった部分までちょっと細かく見ていく必要があるなと思っておりました。

ただ、税務課のほうにはまだ知らせていなかったもので、7月10日付で税務課長のほうには中間報告という形でしてございます。その経過と内容について、ここにお示ししたとおりでございまして、もう少し税務課側と教育委員会が詰めをして、そして校長会議などで少し議論をしていただいて、ただ資料をつくって、はい、渡すという形だけではなくて何か税制改革大綱でも示されていることでもありますから、いろいろな形で示していきたいというふうに考えて、中間報告という形で出しております。

ただ、前に5月の委員会するときにも話ありましたけれども、何々教育、何々教育という部分がいっぱいあります。そういった部分を一つ一つ上げて、小中学校に投げかけていくという部分については、やはり教科の中で社会科とか、場合によっては国語科とか、いろいろな教科の中でやっている部分もあるのですね。ただ、それを全部が何々教育の部分がここだよと点検しているわけではないのですね、教育委員会事務局としては。

それを、例えば環境教育とか、いろいとな形で別の角度からも来ておりますけれども、そういった部分を教科の中に盛り込んでいくというのは、なかなか至難のわざだというふうに考えておるところです。

この辺については、学校現場の校長先生の御意見を頂戴しながら、進めていかなければならないのかなというふうに思っていますけれども。ただ、資料を渡して、はい終わりというふうな部分だけは退きたいなど、将来につながる部分で何かをしなければならないなど。どうせやるのであればというふうな考え方で持っていきたいと考えておりますので、こういった報告を中間報告をしたということで、御承知願いとします。

○委員長（佐々木勝男君） 御説明いただきましたことについて、御質問あればお願いします。御意見も含めて。

○教育長（佐々木賢治君） 1ついいですか。学校現場のことを考えた場合、なかなか事業の中にこれを組むというのは大変だと思うのです。年間指導計画で、カリキュラムができ上がって

いますので、この時間、まさか道徳の時間にこれをやってくださいというわけにもいかないし。それで学年の発達段階に応じた取り組み、組み方あると思うのですけれども、中学校の場合ですと、長期休業に入る前、あるいは学期スタートの時に学年集会とかいろいろあるのです。そういうったときに、例えば15分とか20分時間を設定して、今日はこういったことについてみんなで勉強しましょうねとか、そういった位置づけでは可能だと思います。何月何日何時間目、何年何組とか、そういった細かな部分については、かなり厳しいのかなと。このようにやりようなのですからね。

確かに、これは非常に大事だと思うのです。地域に学ぶ講座、ある学校ではやっているところもありますので、これは税金ですから、地域の特徴などではない、納税義務の学習ですので、税金について当然教科等でも教育していますけれども、町の方からいろいろお話を聞くという機会も年に1回、2回あってもいいのかなとっております。その辺は、次回以降話題に出して協議してもらおうというふうな考えでおります。

○委員長（佐々木勝男君） これから、学校との協議を進めていくということになりますね。ほかに、御意見あれば。

（「理解しました」の声あり）

よろしいですか。

（「はい」の声あり）

日程第6 その他4 中学校運動会の出席者調整について

○委員長（佐々木勝男君） では、次の4番、中学校運動会の出席者調整についてということでお願いします。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、行事予定報告の際にも申し上げておりましたが、8月31日土曜日に町内3中学校の運動会が一斉に開催されます。それにつきましての案内状をまだ正式にはいただいておりませんが、この定例会でその運動会の出席者の調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

皆様方のお手元には、出席予定委員案で出させていただきます。平成21年から24年までの過去の出席者の部分も例として記載しておりますが、御審議いただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

なお、開会時間、集合時間、各校まちまちとなっておりますので、その点を申し添えさせて

いただきます。

○委員長（佐々木勝男君） だたいま御説明のとおり、表の中には、3つの学校についての出席委員の割り振りがなっております何かこの件で御都合が、ここは難しいかなというところあれば、変更というところがあれば、教えていただければと思います。

（「大丈夫です」の声あり）

- ・小牛田中学校 佐々木教育長、三浦委員
- ・不動堂中学校 佐々木委員長、佐藤委員
- ・南郷中学校 成澤委員

それでは、この出席予定委員の案で示されました8月31日の件、このように、あと各学校のほうに報告するのですよね。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 8月になりましたら連絡します。

○委員長（佐々木勝男君） よろしくお願ひしたいと思います。

日程第6 その他5 住民懇談会（意見交換会）について

○委員長（佐々木勝男君） 次に、その他の5番、住民懇談会（意見交換会）について、御説明いただきたいと思います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、教育委員会とよりよい学校給食を進める連絡協議会との懇談会につきまして、大変御苦労さまでございました。

この協議会のほうと懇談会を持たせていただきまして、会議録の部分について、何とかつくっていただけないでしょうかということ、お願い申し上げまして、その会議、懇談会の記録について一応確認し合って、残しておきたいというふうに考えてございます。

その中で、早速もって、この協議会のほうからは、17日の会議の後、23日にはもう懇談会の記録ということで頂戴してございました。その中で、事前に配布した会議録案を見ていただいたと思いますけれども、やはりお互いに確認し合っていくべきだろうなと思っております。

ただ、事務サイドから言いますと、どうしても行政組織の会議録という部分とはちょっと違うのですよね、つくり方が。要点筆記、それから全文記録、そして成文化するというふうな流れになるのですけれども、どうしても、調整者がつくるのですよね。最初テープを聞きながらつくっていきますけれども、調整者の視点という部分で、文言が入るということはありません。その事実関係だけを載せるということになりますと、要点筆記ほど難しいものはない。

ですから、全文記録ということになるのですが、なかなか全文を書き出しするのは大変だというようなこともありまして、つくっていただいた部分に関しましては、物すごくまとめていただいた部分だなというふうに思っていました。それで、字の間違いとか、そういった部分について「お互いに確認して残しておきましょう」というふうなことをごさいますから、その辺のところを、もしここ違うのではないかと、言ったことがもしあれば、教えていただければ、手直しをしていきたいというふうに考えてございます。

ただ、この中でも会議録は会議録としてこういった形で一応残したいわけでごさいますけれども、懇談会をして、じゃあ、この先どういような形で進めていくのかというふうな部分について、やはり教育委員会としても懇談会を受けていろいろな御意見、御批判も頂戴してごさいますから、そういった部分の扱いについて、このまま何もしないでいるということではできないだろうなというふうなことから、今回のテーマとして出させていたおりました。

ですから、まず1つ目が、この会議録の部分についてこういった手直し事項が終了したあかつきには、最後のページでもいいですから、代表の中村さん、それから教育委員会側では委員長、もしくは教育長がサインをするとか、そういうふうな形をして残しておく必要性はあるだろうというふうにごさいます。

私どもは、事務局サイドで考えている部分につきましては、作成者のほうに申し入れしていきたいとは考えてはごさいますけれども、委員の皆さんの中でちょっと発言の趣旨とは違うという部分がもしあれば、私のほうに教えていただきたいということがまず1点目でごさいます。

2つ目が、先ほど言いましたように、今後の部分についてどうしていくかということについて、教育委員会としての考え方を整理しなければならないだろうということでごさいますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（佐々木勝男君） ただいまの住民懇談会（意見交換会）についての御説明いただきました。大きくは、会議録について。2つ目は今後のあり方とどのように考えていくかということが大きくは2つになろうかと思ひます。

この点について、委員の皆さんから御発言をいただければと思ひます。

〔午後5時 7分 三浦学校教育専門指導員 退席〕

○教育長（佐々木賢治君） この間の会議につきまは、私も開会の挨拶のときにお話しさせていただきますけれども、あの協議会の皆様の意見とか、要望等をじっくり聞かせていただきますと、それで、大分意見、批評も含めましていただきました。

それで、それを受けて、教育委員会として今後どういふふうにいただいた意見、要望等を、

あるいは資料等を今後の中で生かしていくのかということになるかと思います。ただ、基本構想云々については、これは現時点では前に出した考え方で私はいます。それが1つと、それから今学校教育環境審議会で、もちろん給食施設だけの審議ではないのですが、当然学校教育環境施設設備面も諮問事項に入っていますので、それらなども答申を受けた後に、教育委員会として統廃合も視野に入れた、もちろん施設設備等のことも考慮しながら、学校教育施設全体として考えなくてはいけないことになろうかと思います。そういったときに、この間いただいた意見とか、その辺はどうするか。ちょっとやはり時間が必要なのかなと思います。ここで、すぐこうしましょうというわけにはなかなか行かないと思います。そういう私なりの考え方でいます。

あと、あのときは委員長、もしくは教育長の発言ということで、スタートさせていただきましたが、ほかの委員さんは、三浦委員さんが発言されましたが、意見を聞きましょうということで御出席いただいた経緯もありますので、今後については教育委員会の中で議論といいますか、協議といいますか、話し合いしなくてはいけないのかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（佐々木勝男君） ほかに。

○4番委員（佐藤三昭君） 大変貴重なお話をいただいたものだなというふうには思っています。資料を集めていただいたり、またいろいろな分析も大変すばらしかったと思って聞いておりました。

提出するに当たったときに、私は申しあげましたけれども、提出に当たってはそのような理由で同じことは申しませんが、ただその中でもやはり環境審議会のほうで、その答申そのものにいつも大きめに比重を与えるというよりは、やはり施設問題が当然出てくるときに、いただいた上でやはり実行しなければいけない、方向先を決めていかなければいけないというのが改めて絶対出てくることだと思っています。

なので、あのときも少しそのようなお話も差し上げた記憶があるのですが、いずれこのような意見を、またその資料を含めて考える1つの参考にしていって、議論を深めていくための話し合いではなかったのかなというふうに、今上げているものを取り下げるとか、そういうことではなくて、むしろこれからのためにそれぞれ考えていきたいと思いますという中で、いただいた貴重な意見交換会だったと私は思っています。時間を見ながらそのことも思いながら、今後考えていければいいかなと、私個人的には思いました。

○3番委員（三浦昌明君） 私からも。本当にすごく専門的に勉強されていて、我々が知らない

ようなことまで、いろいろ教えて頂いたというふうな感じを持っています。

当日、私もちらっとお話しした経緯もありますけれども、どうも話を聞いていて、我々が教育委員会で話し合った基本構想という考え方の部分が全然違うので、本当にアウトライ的なものをつくれればいいのだろうというような感じで作ったものだと思うのですね。

ところが、協議会の皆さんはもっと具体的な、もう実施計画に近いような構想というふうな考え方でできているものだから、全然あそこで話がもう合わなくなっちゃっているというのが、1点。

その話をしちゃったら、いつまでたっても話は収束しないだろうし、私個人的な意見では、あれはもともと震災前につくられたものであって、震災を受けて教育環境を何とかしなきゃならないから先ほどもお話しされていますけれども、環境審議会というのも立ち上げたわけで、震災前につくられたものを、そのまま震災を受けて、美里町に適応することは到底できないのではないかなというふうな個人的な意見、考えをもっています。

そういう意味を含めて、全体的な学校施設という考え方で環境審議会の中で考えてくれるものだと思っているし、我々は基本構想をもう提出したということで、1つの区切りのようなものと考えていいのではないかなと。あれは、あれとしてさらに震災を受けて、また審議会、教育委員会で新たなものを考えていくというふうな考え方でいいのではないかなというふうに、個人的に思います。

○委員長（佐々木勝男君） ほかに。成澤委員のほうでお話しはありますか。

○2番委員（成澤明子君） 基本構想というこれだけのものを一町民として見ていく上で、大変なのですけれども、それを住民懇談会のときさらにもっといいやり方があるのではあるとか、私自身もすごくいい勉強になったと思っています。

それで、今の給食施設を見ますと、一番新しいものが小牛田中学校で18年前にできたもの、それから不動堂小学校のものは、39年前にできたものということで、どのような施設であっても、必ず悪いところは出てきたら直しながら使うということはあるのですけれども、これからの美里町の人口の推移であるとか、あるいは児童数が減ってくる、中学生も生徒が減ってくるということなども考えると、本当にどうあるべきかということが問われるのではないかなと思いますけれども。

すぐに自校方式がいいであるとか、あるいはセンター方式がいいということにぱっとすぐ行かないで、やっぱり子どもたちの給食をどうするかということで、話し合ってお互いにお話を聞き合ったということでは、すごい意義があったのではないかなと思っています。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま、それぞれの委員の皆さんから御意見、お考えをいただいで、一つにまとめるというのはちょっと今できない状態で、もっと詰めれば少し時間的なことも必要かなと思います。今後のあり方でどのように進めるかということにかかわってくると思いますので、それぞれの委員の皆さんから出された項目を少し分類しながら、会議の時間を今後設定していく必要があるかと思うのですが、この件については委員の皆さんはいかがでしょう。

（「そうですね。」の声あり）

今日、ここで終わりということにはちょっと無理でしょうね。よく煮詰まっていないわけで、それぞれの委員の皆さんのほうから出された同じ内容的なもの、项目的なもの、同じものではないわけだし、そういったところを少し整理しながら懇談会の、意見交換会で示していただいた、お話しいただいたものも含めながら、今後話し合う時間というのを設定していく必要があるかなと思うのですが、どうでしょうか。

○教育長（佐々木賢治君） 委員長、本当に午後1時半から始まって、間もなく5時半に、4時間と長い会議になってしまって、事務局として本当に申しわけなく思っております。

実は、日程を決めるに当たって、その他の5番目まで行くのかなという心配もございました。特に、教育委員会の点検評価についての部分、かなり時間を要するということは予想しておりましたので、それでこのその他の5番目、5分、10分ではちょっと難しいのかなとは思っていました。そういう設定の仕方させていただきましたが、ただこの間懇談会やっておりますので、一つも触れない訳にはいかないと、事務局でこういう日程を組ませていただきました。

それで、今委員長さんがお話いただいたように、次回にこのことだけについて、本当に申しわけないのですが、お集まりいただいてお話し合いしていただくとうありがたいのかなというふうに思っています。よろしくお願ひします。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま教育長さんのほうからお話いただきましたように、次回の設定した場合の会議の中身としては、今回の住民懇談会の意見交換会に絞って、先ほどの会議録の件であるとか、それぞれ委員の皆さんから出されたことの項目を立て、そしてその今後のあり方というようなことも話し合いの中に入れて、進めるというようなことでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

会議時間設定については、事務局側のほうに、調整していただひてお願ひ申し上げたいと思います。以上で、5番の住民懇談会（意見交換会）については、終わらせていただきますが、

よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

その他 次回定例会の開催について

○3番委員（三浦昌明君） 次回の定例会、予定入っていますけれどもね。

○委員長（佐々木勝男君） 次回の定例会について、確認をしたいと思います。

行事予定表の中には、8月22日、定例会ということで入っております。これは、下旬に議会の一般質問締め切りというようなことで、9月議会に向けての事務局側のこともございますので、当初は下旬ということなのですが、少し繰り上げて22日というようなことが出たと思いますが、この件はどうでしょうか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それでは、この件について説明をさせていただきます。

教育委員会が行う自己点検評価の関係につきましては、先ほどお話ししたとおりでございます。9月の定例会は8月26日に招集告示になってございます。その議会の一般質問の締め切りが28日だと思います。定例会そのものについては、次の週から始まるというふうなことで、恐らく9月3日からなるかと思っております。

自己点検評価については、議会に報告し、そして公表するという事になってございますので、議会に報告し、という部分についてはいろいろな報告の仕方があるということをお話ししたいと思います。ただ、これまでの流れから言いますと、教育委員会の行政報告として、まずしたいということから、9月3日には教育長から行政報告という形でしていただければ、大変いいのかなというふうに思っています。

そのためには、告示前に議長、議員への説明、もちろん首長への説明も必要かと思っておりますので、告示前ということになりますと、23日しかないのです。22日に教育委員会定例会をしていただきたいというふうな案は、最終のまとめを行うのが教育委員会なので、評価委員が点検して終わりという形にはならないのです。

ですから、評価委員さんがこういうふうに評価しましたということを教育委員会で受領をして、それをさらにまとめをした段階で自己点検評価というのが完結すると、1つの完結ですね。ですから、それを22日にしないと、9月の定例会のほうに間に合わないというふうな流れから、22日にぜひ教育委員会の定例会をお願いできないものかということでございます。これが理由でございます。

- 3番委員（三浦昌明君） 最終日程ですね、22日が。大丈夫です。
- 4番委員（佐藤三昭君） 私、大丈夫です。
- 2番委員（成澤明子君） 大丈夫です。
- 委員長（佐々木勝男君） それでは、次回の定例会につきましては、8月22日木曜日午後1時半、この南郷庁舎でということになります。よろしくお願ひしたいと思ひます。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長さん先ほど言われました給食の関係ですね、事務局にて日程調整ということでございますから、22日の定例会とは別個の考え方で日程調整をさせてもらって、それぞれの委員さんに後で確認しますけれども、その件よろしくお願ひしたいと思ひます。

（「はい」の声あり）

- 委員長（佐々木勝男君） 本会議の日程については以上でございます。そのほかはございませぬ。

（「はい」の声あり）

では、以上で平成25年7月教育委員会定例会を終了いたします。長い時間ありがとうございました。

午後 5時30分 閉会

上記会議の経過は、事務局教育総務課 寒河江 克哉の調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

平成25年 9月26日

委員長

署名委員

署名委員